



ママチャリグランプリ チーム対抗 6 時間耐久レース

ルールブック

【カートコース編】



更新履歴

2025年12月20日 更新

参加される選手及びチームの皆様へ

このルールブックには、ルール解説、危険箇所の説明、コース図、パドック図、施設図、タイムテーブル、発信機取り付け方法など、レース参加の必要事項全てが記載されています。参加ライダーとチーム関係者は事前にこの「ルールブック」を熟読頂き、安全に参加できるよう努めてください。

参加資格

- 1) 補助輪を使用せず安全に運転できる方。
- 2) 年齢、性別、人種に制限無し。但し未成年者のみでの参加は不可。未成年者は保護者の同意及びチーム内に最低一名の保護者同伴必須。
- 3) 1チームにおける参加ライダーは **3名以上(一部のクラスを除く)、総数10名以下(お子様が走行する際その人数に含まれる)** で構成してください。但しピットクルーや応援団の人数に制限はございません。

レース形式

- 1) グリッドスタートによるチーム対抗6時間耐久レース
- 2) スターティンググリッドはヤル気順に決定
- 3) 6時間経過とともにチェッカーがふられてレースが終了

5種のクラス

- 1) ママチャリクラス
8段変速以下のママチャリで参戦するクラス
- 2) アシストママチャリクラス
電動自転車を使用した最新鋭のクラス
- 3) ママチャリアイアンマンクラス
1人で6時間を戦い抜く、鉄人のためのクラス
- 4) ママチャリミックスペアクラス
男女カップルで参加する2名1組のクラス
- 5) ママチャリファミリークラス
家族全員が参加する、一生の思い出を作るクラス

参加申込からレース当日まで一連の流れ

- 1) WEBで参加申込を行い、参加費の支払いを完了させる。
- 2) 1)の終了後数日するとネット上のエントリーリストにチーム名やゼッケン番号が掲載される。
- 3) 現地に集合する（ルールブックを参照）。
- 4) **記入・署名・捺印済みの参加申込み書（誓約書）**を持参する。チーム代表者は受付で提出し、発信機を受け取る。（未成年者は保護者の参加同意書が必要です。ホームページよりダウンロードし**参加申し込み書に沿って**当日の受付で提出してください）
- 5) 発信機を**布製ガムテープ**を使用し車両に取り付ける。
- 6) 車両検査を受ける。スペア車両や子供が別の車両を使用する際はその車両も検査を受ける。
- 7) ミーティング(注意事項の説明)に参加。
- 8) グリッドに整列する。
- 9) レーススタート。
- 10) チェッカー（終了）
- 11) 発信機を返却する。
- 12) 表彰式でトロフィーを受け取る。
- 13) 自由解散



ピットとピットレーンについて

- 1) 「ピットエリア」については、参加者の皆様に**共有使用**します。よって**先着順の場所取り行為はご遠慮下さい**。ピットエリア内はテントを張ったり、BBQを楽しんだり、皆様のリクリエーションスペースとなります。

パドック側の利用方法とBBQについて

- 1) ゴミは、**お持ち帰り**頂けますようご協力お願い申し上げます。
- 2) BBQを行う際は、BBQコンロ等を使用してください。地面での「じか火」や「練炭」などの使用は禁止します。
- 3) BBQを行うチームは、消火器を必ず持参ください。
- 4) 水道はトイレ裏に設置されていますのでご自由にお使い下さい。



- 5) 場内での**飲酒は禁止**です。
- 6) 場内全域禁煙となります。



車両規定・子供用車両

- 1) 車両は整備が完了し安全に走行できる状態であること！
- 2) カゴに認識可能なゼッケンを取り付けておいてください。ゼッケンのサイズ・形に規定はございません。ゼッケンを掲示していない車両は**走行できません！**

(写真：ゼッケン貼り付け良い例)



- 3) サドルの高さは一番低い位置に固定してください。もしステムが長くて下まで下がらない場合は短い物に交換するか、切断するなどして適切な位置に下げてください。適切な位置に下がらない車両は使用できません。

“とても重要！”

このルールは可能な限り転倒事故を減らすために規定したものです。必ず規定を守るようお願い致します。



4) ハンドルの高さは95センチ以上で固定してください。

5) **スペア(予備)車両を使用する際のルール(アシストクラスを除く)**

各チームにメインマシン 1 台 + スペアマシン 1 台 = 合計 2 台まで使用可能。なおスペアマシンの定義は、メインの車両が壊れて「走行不能」になった場合に使用できる車両を意味します。

なおアシストクラスはスペアマシンを使用出来ません。

6) **子供がチームに属し、子供専用自転車を使用する際のルール**

身長が低いなど、**身体的理由によりメインのママチャリを安全に運転できない “小さなお子様”** に対し救済処置として子供専用自転車(補助輪使用不可)を使用できます。その際は体格に見合った自分の自転車をお使いください。

小さなお子様が走行する際は、安全を確保するため伴走するようお願い致します。

(写真：子供用自転車の伴走良い例)



7) 以下3種の自転車は、使用可否の問い合わせが多く寄せられている自転車一例です。

メーカー名	機種名	可否
ブリジストン	マークローザ	3Sと7Sは使用可
ルイガノ	TR-2	 このフレームのTR-2は 使用不可
ルイガノ	TR-2	 このフレームのTR-2は 使用可

8) アシストクラスの使用可能機種（記載のない機種は使用不可）

アシストクラスの規定	
<p>国家公安委員会が認定する2輪または3輪の「型式認定」を所得している車両に限りです。それ以外の電動自転車は使用できません。</p> <p>また、型式認定を所得していても製造メーカーがスポーツモデルとして販売している車種も使用できません。以下の表は主たるメーカーが販売しているスポーツモデルの一例となります。</p>	
ヤマハ	YPJシリーズ、PAS Braceなど
パナソニック	VMシリーズ、XU、ジェッター、ハリヤ、ペロスターシリーズなど
ブリジストン	ティービーワン、リアルストリームシリーズなど

9) 基本車両規定一覧表

基本規定一覧

- 1) ママチャリの**気品**と**勇姿**が保たれていること！
- 2) 一般市販の**無改造車**であること！ハンドメイド車両などは使用不可！
- 3) 車両にお金をかけることは許されない！但し**装飾にお金を掛けることは許される！**
- 4) ギアは、無段変速または**8 段変速以下**であること！
- 5) フレームは、スカートをはいている女性でも容易に乗り降りができる「ママチャリストایل」であること！
- 6) サスペンション付きは使用不可！
- 7) ハンドルの高さは**95 センチ以上**であること(図解車両規定参照のこと)！
- 8) 車輪は**24~27 インチ**であり、尚且つ車輪にカバーを取り付けてはならない！
- 9) ギア・チェーン・ペダル・リム・ハブなど駆動系の加工や変更不可！
- 10) タイヤ、チューブ、エアバルブは交換変更可。但しタイヤは公道用オールウェザータイヤを使用し、競技用タイヤは使用禁止！
- 11) カゴの正面に雨風に耐えうるゼッケン番号を付ける！
- 12) アシストクラス対象：バッテリーは無改造のメーカー純正品のみ使用可。使用できる個数は 1 個。
- 13) アシストクラス対象：バッテリーは車両検査で封印します。その後は、**充電・交換・取り外し**禁止となります！

図解車両規定

競技用タイヤ使用不可!
サイズは24~27インチ限定!

サドルの高さは
最低位置に固定

フラットでも
アップでもOK!



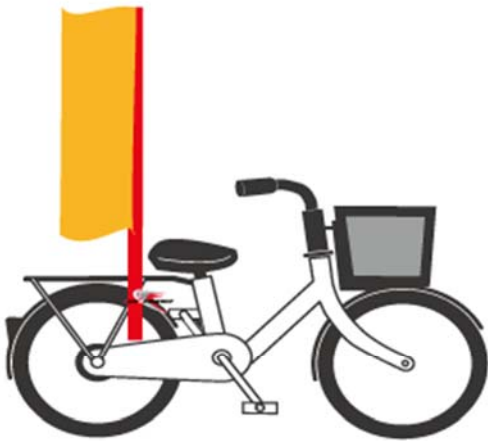
カゴにゼッケンを付ける!

泥除け必備!

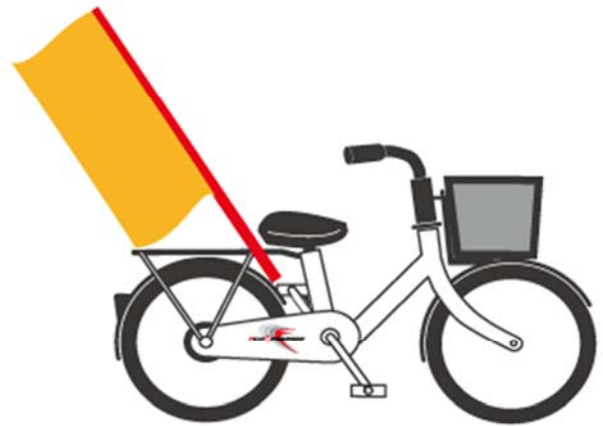
グリップの高さは
地上より95cm
以上であること!

ギア・チェーン・ペダル・リム・ハブなど駆動系の改造変更禁止!

【車両に「のぼり」等を装着する際のルール】



のぼりを垂直に立てていればOK!



禁止する装着方法

後方の選手に旗が接触する危険性あり!

のぼりなどの装着に関しては、他者へ対して細心の注意をお願い致します。

ライダーの装備について

ヘルメット（※1）・グローブ（軍手可）・長袖・長ズボン・運動靴の装備厳守となります。転倒に備えパッド装着を強く推奨します。**お子様に関してはパッド装着厳守となります。**

※1 工事用ヘルメット(ヘルメット裏側に「飛来、落下物用」や「電気用」等と表記)は、転倒時の衝撃により側頭部や顔面を強打した重症事故が発生したため使用禁止と規定します。ヘルメットは**二輪用、四輪用、スキー用、スノーボード用、フットボール用**などの安全な製品を使用することを強く推奨します。また自転車用ヘルメットは使用可能であるものの推奨いたしません。

ヘルメット一例



フルフェイスヘルメット



ジェット型ヘルメット



スキー・スノーボード用ヘルメット



通学用ヘルメット

※通学用ヘルメットは一見工事用ヘルメットと見分けがつかません。そのためレース中に係員よりヘルメット確認のために停車を要求される場合があります。予めご承知ください。

走行に関する注意

- A) 走行における基本的理念につきましては、「弱者優先」でお願いします。
- B) 走行中、他者に接触したり、走行を妨げてしまった際は「**ごめんなさい！**」の一言をお願いします。その一言でお互い気持ちの良いレースになる事と思います。
- C) 周囲の確認不足による走行中の接触が多く見受けられます。前後左右の車両を確認し状況を把握しながら走行する習慣をつけてください。（コーナー侵入時はキョロキョロ周囲を見渡すように！）
- D) 他者を追い越す際は十分な車間と車幅を確保し無理にイン側を走行したりしないようご注意ください。コース内の境界線を越えて走行する行為は非常にマナーの悪いライダーと判断されます。
- E) このレースは、小さいお子様も参加します。お子様を追い越す際は十分な車間と安全を確保し、**お子様優先（弱者優先）**で追い抜きをお願いします。
- F) 転倒で怪我を負った際は、無理に動かず救援をお待ち下さい。動かす事によって怪我が悪化する恐れがあります。必要に応じて医務室へ搬送します。そして医務室の判断により場外の病院へ搬送する場合があります。



- G) 6歳以下のお子様、または必要に応じて保護者の伴走を義務付けます。お子様が参加する際は十分な事前練習をお願い致します。
- H) レース中に起こった事故において、その相手に責任を追究したり、損害を要求する事は出来ません。たとえ自分に非が無くとも、それらは全て「50：50」の定義に基づき処理されます。一般公道とサーキットでは考え方が違う事を予めご承知下さい。また、傷害保険などの適用はございません。各自でご加入ください。



発信機の取り付け方法

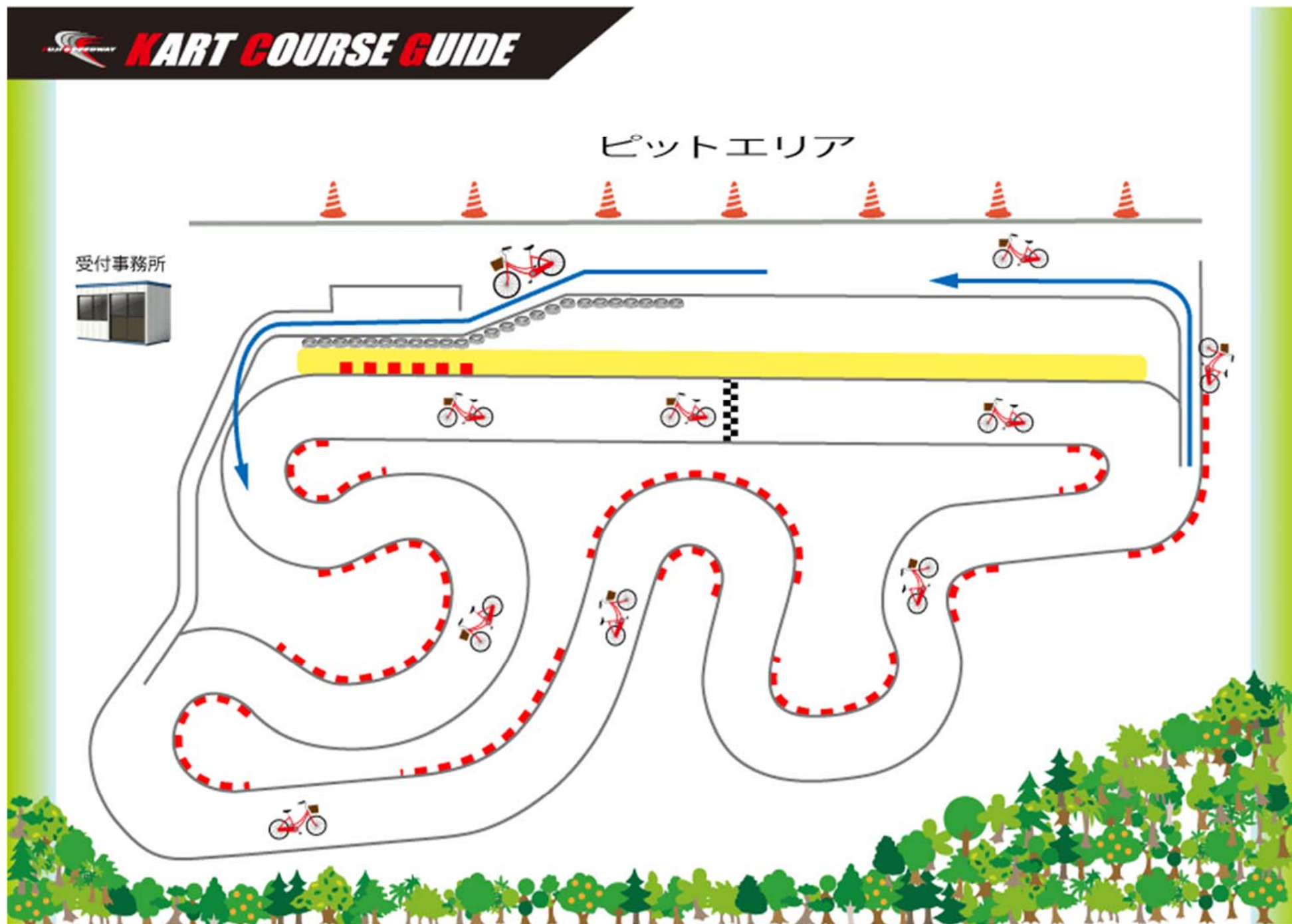
写真と同じ場所、同じ向きで、布製ガムテープを使用し強固に固定してください。ビニールテープ・養生テープ・紙のガムテープは走行中の衝撃などで脱落する恐れがあるため使用しないでください。

発信機の紛失や脱落による破損については、発信機代金 **48,000 円**が請求されます。

(写真は取り付け一例として発信機が見えるよう養生テープで止まっています)



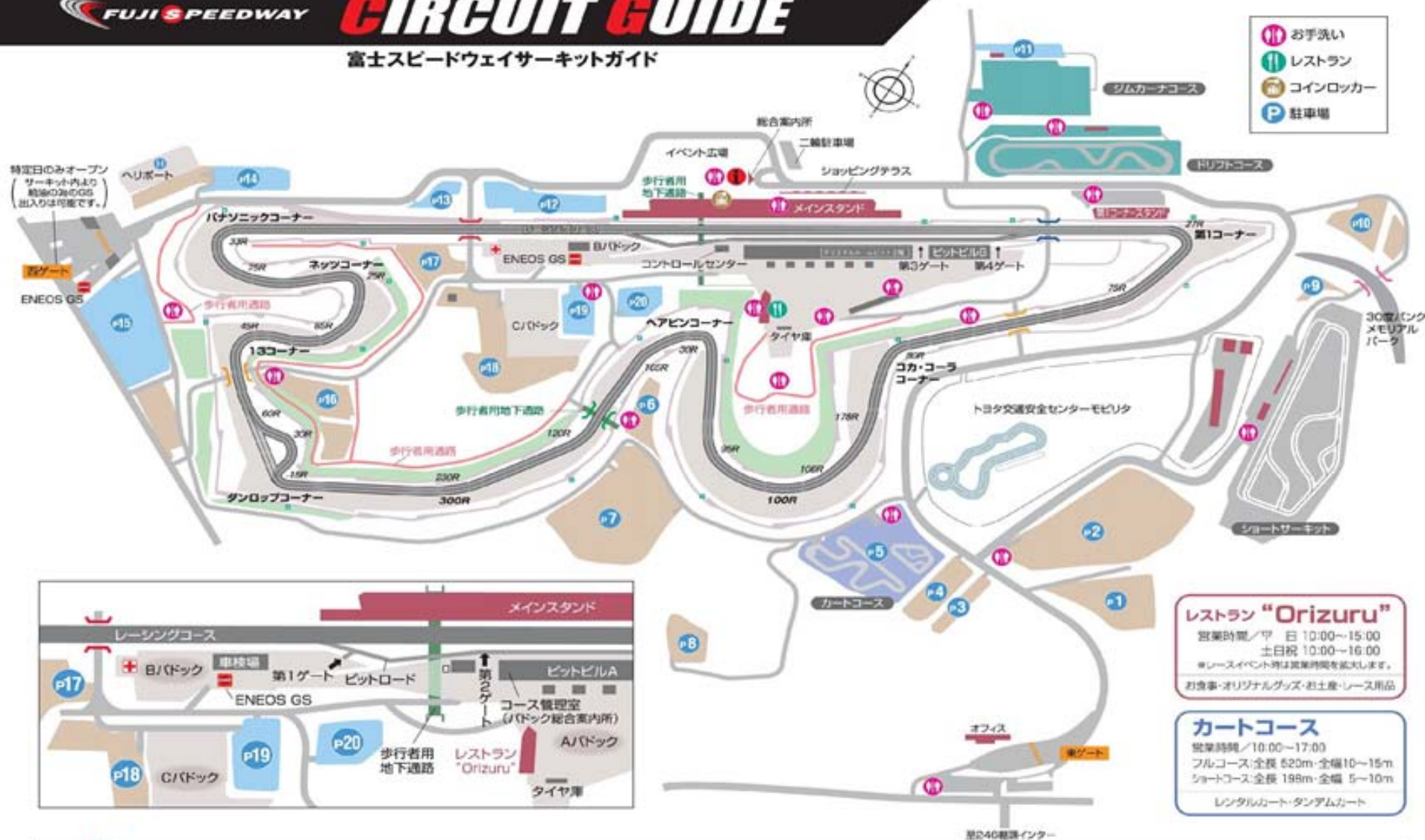
パドック&コース図



場内マップ

FUJI SPEEDWAY CIRCUIT GUIDE

富士スピードウェイサーキットガイド



建物内、パドック内全面禁煙。指定場所以外での喫煙はご遠慮下さい。

<http://www.fsw.tv> 富士スピードウェイ株式会社 (2007年2月現在)

タイムスケジュール

	7時	8時	9時	10時	11時	12時	13時	14時	15時	16時	
参加受付		事務所前									
車検		事務所前									
BBQ可能時間帯		消化用水を準備してBBQをお楽しみ下さい。									
ミーティング (参加厳守)			最終 コー								
決勝レース				決勝6時間耐久レース						発信 機返 却	
表彰式										最終 コーナー	
お知らせ	1) ゲートオープン 7:30 (ゲートの混み具合により時刻が早まる事があります) 2) 東ゲートより入場ください。西ゲートからは入場できません。										